

スプリングセミナーでの経験

経営学部 1年 菊池悠斗

僕は今回のセミナーを通して英語以外にも様々なことを学びました。

まずバスについてです。

バスに乗る際は日本と違いバス停で待っているだけでは停まってくれません。乗りたいバスが来たときに手を挙げて乗りたいという意思表示をする必要があります。降車したいときも日本とは違います。バスの中でのアナウンスがないので Google マップなどを使用して自分が降車したい場所を把握しておかなければなりません。



二つ目は英語の発音についてです。

オーストラリアは多文化社会なのでいろいろな国の方が在住しています。もちろん大学にも多様な国から留学生が来ていました。

その中で感じたのが発音、アクセントの違いです。日本人は比較的アメリカ人のきれいな発音によく似ています。しかしながらベトナムや中国の方の発音を聞くとアクセントが強く、よく聞きとれないとどの英単語を発音しているのかが難しいときがあります。そこで僕は人に伝わりやすいようになるべくはっきりと発音することを心がけていました。すると大学の先生にも発音に関してほめられることが多くなり自信にもつながったと思います。



ホストマザーと

続いて英語力についてです。

前提として日本に住んでいる間、英語で日常的に話すということが全くありませんでした。このことから話す能力に関してはほぼ0に近い状態でした。

ホームステイ先での1,2,3日目は単語でしか発言できず、文章としてはどのように話しているのかがわからずに普通の会話はできませんでした。しかしホストマザーから、文法や単語は間違えてもいいからとりあえず自分の思ったことを口に出すことが大事だと言われ、4日目から実際にやってみました。

すると、文章の文法はめちゃくちゃでも話したいことが徐々に伝わるようになってきました。その後も徐々にホストファミリーや大学の友達と英語で話していくうちに文法を意識していくようになりました。その時は英語を話すことに関して恐怖などなく積極的に話すようになっていました。

土日でツアーに参加した際には、自分からツアー参加者の外国の方に話しかけるようにしました。そのことがきっかけでより社交的で明るく、積極性がました実感が出てきました。

この留学では貴重な体験を多くし、人生において忘れられない経験になったと思います。このことを忘れずに学んだことを今後に生かせればよいと考えています。